

法人理念	人の世に熟あれ、人間に光あれ。 ○地域・当事者・働く人々の三位一体を表現する。○自己決定を尊重する自立生活をめざす。○街や家で住み続けられる支援力を具体化する。		
支援方針	自立性・協調性・社会性を育てる。		
送迎実施の有無	○あり なし		
営業時間	平日（月曜日から金曜日）	10時30分 から 17時30分 まで	
	長期休暇時（春・夏・冬休み）	10時 から 16時30分 まで	
	不定期の土曜日・日曜日・祝日		
	宿泊体験	1日目	14時30分 から 22時 まで
2日目		7時 から 14時 まで	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	身辺自立支援：日常生活に必要なスキル（食事、着替え、排泄等）の練習をしている。 日常生活習慣支援：掃除・洗い物等を通して、生活を送るうえで必要となる能力の習得・向上へ繋げている。	
	運動・感覚	曜日別活動（運動）：ボール運動・サーキット運動等を通して、体幹の強化・空間認知能力の向上・力加減の習得等へ繋げている。 曜日別活動（感覚）：風船等を手で触れたり、動きを目で追いかけたりすることを通して、感覚統合を促している。	
	認知・行動	学習：1人ひとりの習熟度に合わせた教材を作成し、簡単な計算や名前の記入練習等に取り組んでいる。 園芸活動：植物・野菜等を育てる経験を通して、集中力や自己肯定感の向上に繋げている。	
	言語 コミュニケーション	曜日別活動（言葉）：言葉の発声や絵本の読み聞かせなどを通じて、言葉のリズムや言葉の違いを知り、言語能力の向上を目指している。 コミュニケーション：1人ひとりの強みを活かした方法でやり取りができるように、様々なコミュニケーションツールを活用している。	
	人間関係 社会性	はじまりの会：他者と一緒に話を聞いたり、挨拶を返したりする力を養う機会を提供している。 曜日別活動：ボールや風船の準備や片付け、ボウリングの倒れたペットボトルを並べるといった活動をみんなで協力して取り組むことで、社会性の向上へ繋げている。	
	備考	上記の支援内容以外にも多岐に渡る活動を提供しているので、5領域との関連性はこの限りではない。	
家族支援	本人の家族と日常的に連絡を取り合う体制を確保し、必要に応じて助言・提案等を行っている。 また、希望があれば面談の機会を設けたり、相談に乗ったりしている。	移行支援	幼稚園や学校等の教員等と連絡を取り合う体制を確保し、情報交換を行っている。 また、当事業所での支援方法等を示し、必要に応じて同様の支援を実践していただくことができるように提案している。 学校卒業後の進路に関する会議に参加したり、相談に乗ったりしている。
地域支援・地域連携	本人の関係者間で連携し、必要に応じてサービス担当者会議等に参加している。 本人の利益となる情報の収集に努め、必要に応じて助言・提案を行っている。	職員の質の向上	法人内外の研修・勉強会へ参加する機会を設けている。
主な行事等	宿泊体験・お祭り・卒業祝い・季節に合わせた活動等を行っている。		